

高度専門人材の育成に係る 分野別質保証の取組

1. 技術者教育における質保証について
2. 獣医学教育における質保証について

技術者教育における質保証について

大学における実践的な技術者教育のあり方に関する協力者会議

文部科学省は、「大学における実践的な技術者教育のあり方に関する協力者会議」(座長 谷口 功 熊本大学長)を平成21年6月に設置。

技術者教育の充実、実践的教育の必要性、求められる技術者像などについて検討を行い、平成22年6月「大学における実践的な技術者教育のあり方」報告書が提示。

この報告書において、大学における実践的な技術者教育での学生の共通な到達目標を示す「分野別の到達目標」をスピーディーかつオープンに策定すべき旨提示。

技術者教育に関する分野別の到達目標の設定に関する調査研究

文部科学省では、上記協力者会議委員、及び同会議内「教育内容等に関するワーキンググループ」主査を務めた野口 博 千葉大学大学院工学研究科長(当時)を中心とする技術者教育関係者に、分野別の到達目標の設定に関する調査研究を委託し、平成24年3月にとりまとめられた。

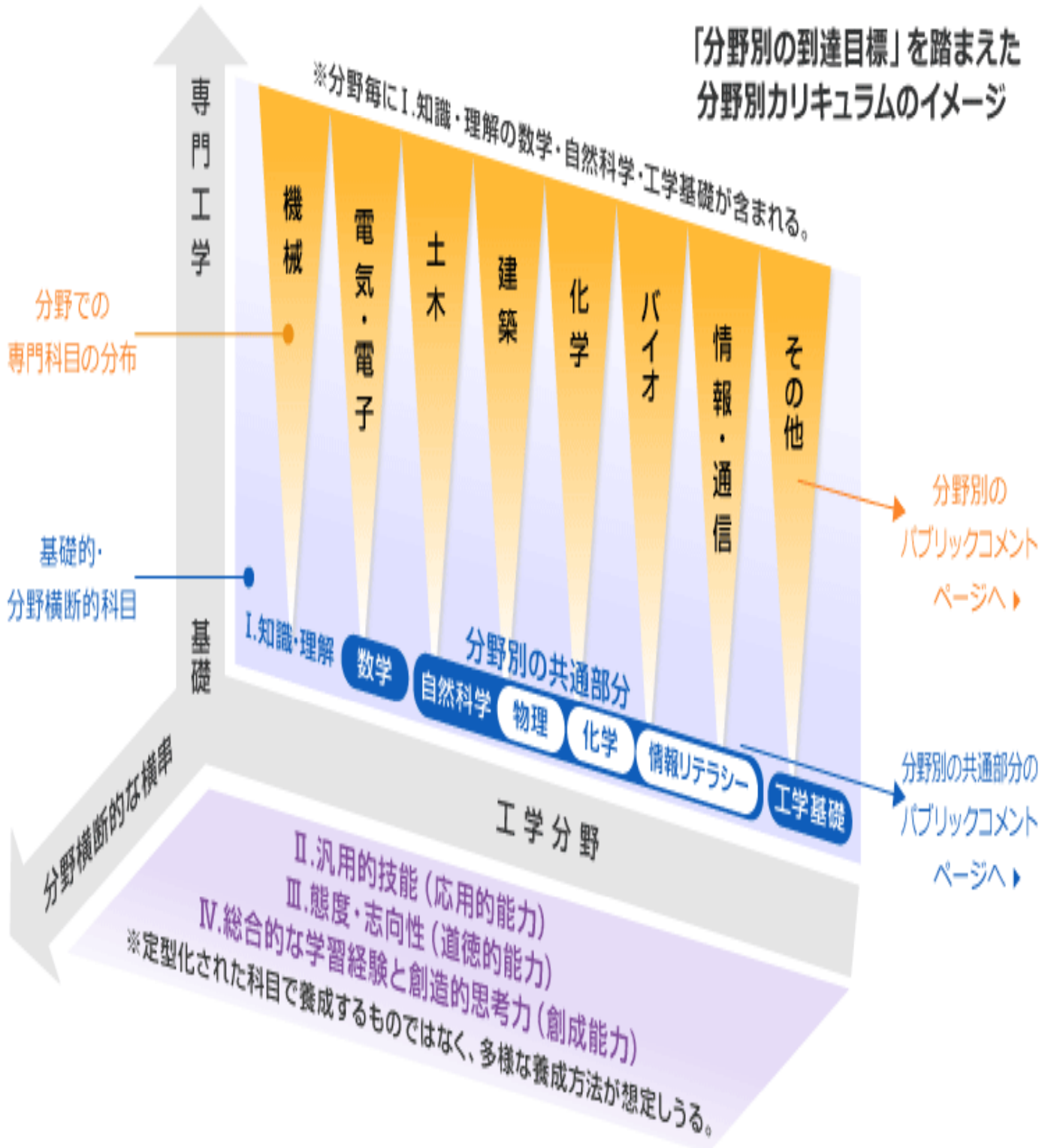
関連資料掲載WebサイトURL <http://hneng.ta.chiba-u.jp:8080/>

専門分野の学習到達目標の位置づけ

- 工学における伝統的な基幹分野として、**機械、電気電子、建築、土木、化学、バイオ、情報・通信**の7分野を対象。
- 専門分野別の到達目標については、技術者教育において育成すべき**知識・能力と、その到達目標の一覧表**を作成。
- 一覧表の育成すべき知識・能力は、**1. 基礎、2. 専門分野、3. 汎用的技能、4. 態度・志向性、5. 総合的な学習経験と創造的思考力**から成る。
- 一覧表の到達目標では、「コア」と「要望」の二つのレベルを設定した。「コア」とは、**基礎的で必修的な目標であり、「要望」は選択的なより高度なレベルの目標。**
- 分野で基礎的で共通部分である「**数学**」、「**自然科学(物理、化学、情報リテラシー等)**」、「**工学基礎**」、そして分野別の「**専門科目**」、分野共通部分として「**汎用的な技能**」「**態度・志向性**」「**総合的な学習経験と創造的思考力**」については、国際的な理解を得、技術者教育の設定項目を国際標準に近づけることを目標に整理。
- これらの項目は、**TuningTexas、ABET、JABEE、国際工学(IEA,InternationalEngineeringAlliance)の卒業生としての知識・能力(Graduate Attributes)等の国際標準的な基準の項目とはほぼ対応。**
- 本調査研究では、この報告書を1つの材料として各大学における教育課程の編成に係る議論が進む一方で、さらに充実した分野別の到達目標を目指す検討が行われることを期待。

「分野別の到達目標」を踏まえた分野別カリキュラムのイメージ

「分野別の到達目標」を踏まえた 分野別カリキュラムのイメージ



獣医学教育における質保証の取組について

これまでの経緯

文部科学省は、「獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」を平成20年11月に設置し、平成23年3月に、高度な実践力を有する獣医師の養成・国際水準の獣医学教育の実現に向けて、以下の教育改革の方向性を提言。

- ・モデル・コア・カリキュラムの策定など教育内容・方法の改善促進
- ・共同学部・学科の設置や大学間連携の促進になど教育体制の充実
- ・分野別第三者評価や診療行為に参加する学生を事前に評価する共用試験の導入の促進

(参考:モデル・コア・カリキュラムの主な内容)

獣医学生が卒業時まで身につけるべき必須の能力に関する到達目標を明示。

獣医学専門教育課程6年間で学修すべき2 / 3程度の内容を示す。

近年の獣医学の進歩や社会的ニーズを考慮して講義科目51科目、実習科目19科目により構成。

科目名は例示であり、また単位数も大学が独自に割り振る。

共用試験の出題基準、大学の横断的・分野別評価の基準として使用できる。

現在の状況

この提言をもとに、各大学・関係団体において教育改善の取組が進められているが、教育改革の進捗状況のフォローアップ、獣医師の活動分野等の偏在などに対応するため、平成24年3月に、改めて「獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」を立ち上げ、以下の論点について検討を進めている。

(主な論点)

教育改革の進捗状況のフォローアップと今後の推進方策

公務員・産業動物分野の獣医師の育成に向けた今後の獣医師養成の在り方

(入学定員の在り方を含む)

獣医学分野における教育者・研究者養成の在り方

これまで、教育改革の進捗状況に関するフォローアップ、教育の実施状況についての調査を行ったところ。